

地球温暖化対策実施状況報告書

平成26年7月30日

（報告先）
横浜市長

住所 東京都港区高輪2-20-20

氏名 京浜急行電鉄株式会社
取締役社長 原田 一之

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	京浜急行電鉄株式会社 取締役社長 原田 一之				
事業者の主たる 事業所の所在地	東京都港区高輪2-20-20				
主たる事業の業種	大分類	H 運輸業、郵便業			
	中分類	4 2 鉄道業			
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量	4,408	k l	自動車の台数	台

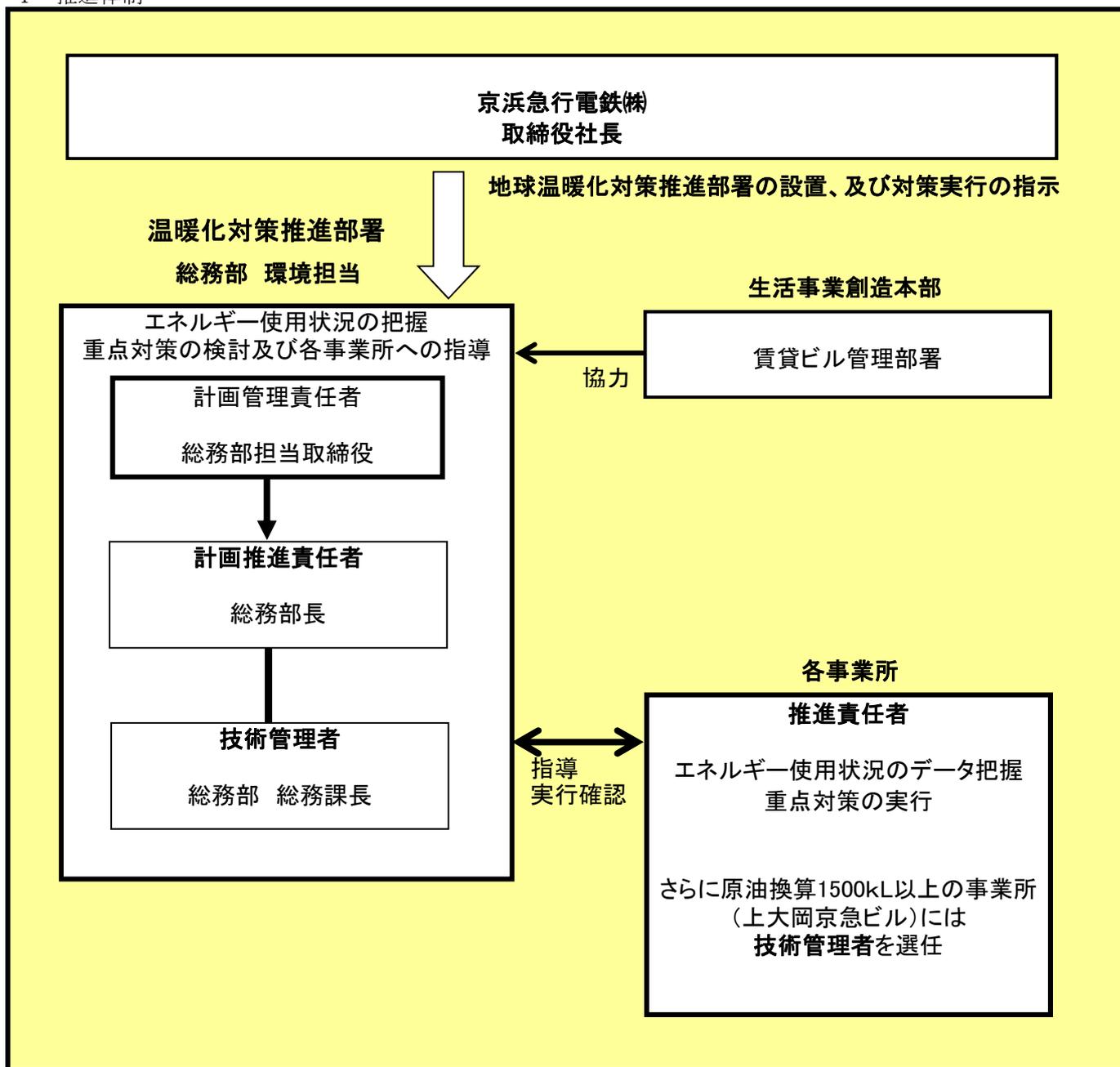
2 計画期間及び実施年度

計画期間	平成25 年度	～	平成27 年度	実施年度	平成25 年度
------	---------	---	---------	------	---------

3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

当社の地球温暖化対策への基本コンセプトは、「モーダルシフトの推進、地域環境の保全、環境負荷の低減」とし、事業活動や社会貢献活動を通じて地域環境の保全と環境負荷の低減に努め、持続的発展が可能となる魅力ある沿線価値の創造に取り組んでいる。こうした取組みの中で、横浜市の計画書制度の対応として計画期間（平成25年～平成27年の3年間）においては、市内の事業所から排出される二酸化炭素排出量を0.8%削減するという目標を設定し対策に取り組んでいく。この目標を達成するため、事業所内へのLED照明の導入や運用改善を推進する。また、上大岡京急ビルにおいては、空調の高効率化を実施中である。

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	http://www.keikyu.co.jp
窓口で閲覧	閲覧場所	
	所在地	
	閲覧可能時間	
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (平成24年度)	基準排出量	8,251	t-CO ₂			基準原単位	57.46	t-CO ₂ /	千m ²
	調整後	8,246	t-CO ₂			目標原単位	56.98	t-CO ₂ /	千m ²
目標年度 (平成27年度)	目標排出量	8,182	t-CO ₂	削減率	0.8 %	削減率	0.8 %		
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	横浜市内における全ての事業所から排出される温室効果ガスの総量に対し、「上大岡京急ビル」が約57%を占めている。上大岡京急ビルにおいては、空調の高効率化やLED照明の導入、運用改善による削減効果を見込んだものである。								
事業者全体としての目標等									
第一年度 (平成25年度)	排出量	8,125	t-CO ₂	削減率	1.5 %	排出原単位	56.95	t-CO ₂ /	千m ²
	調整後	6,964	t-CO ₂	削減率	15.5 %		削減率	0.9 %	
目標等の達成状況及び説明	京急上大岡ビルにて空調機と照明の高効率化を行った。また、京急金港町ビルを売却したため、エネルギー消費量が削減された。								
第二年度 (平成26年度)	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /	千m ²
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%	
目標等の達成状況及び説明									
第三年度 (平成27年度)	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /	千m ²
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%	
目標等の達成状況及び説明									
計画期間全体の排出状況に関する説明									

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計 (t-CO ₂)						
3,000k l 以上	0	0	0	0				
1,500k l 以上 3,000k l 未満	1	4,684	1	4,561				
500k l 以上 1,500k l 未満	1	1,040	1	1,086				
500k l 未満	16	2,527	16	2,478				
合計	18	8,251	18	8,125				

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数 (台)	排出量の 合計 (t-CO ₂)						
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合 (%)		%		%		%		%

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

9 重点対策の実施状況

			基準年度	第一年度	第二年度	第三年度	備考
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	実施済	実施済			対象事業所数：18
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	実施済	実施済			対象事業所数：7
	3	機器管理台帳の整備	実施中	実施中			平成27年度末までに実施
	4	照明設備の運用管理	実施中	実施中			平成27年度末までに実施
	5	エネルギー使用量の把握	実施済	実施済			対象事業所数：2
	6	各種図面の整備	非該当	非該当			対象事業所数：2 蒸気搬送設備、圧縮空気設備はなし。
	7	外気導入量の適正管理	実施済	実施済			対象事業所数：1（上大岡京急ビルで実施、みうら湯では外気導入のコントロールは物理的に不可能）
	8	フィルター等の清掃	実施済	実施済			対象事業所数：2
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	実施済	実施済			対象事業所数：2
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	実施中	実施中			平成27年度末までに実施
	11	室内温度の適正管理	実施中	実施中			平成27年度末までに実施
	12	地下駐車場の換気管理	実施済	実施済			対象事業所数（地下駐車場）：1 上大岡京急ビル 他 地下駐車場なし
	13	照明設備の高効率化	実施中	実施中			平成27年度末までに実施
	14	事務所機器の待機電力管理	実施済	実施済			対象事業所数：1 上大岡京急ビル（市内エネルギー使用量の約6割を占めるため）パソコン310台
	15	機器性能管理	未実施	実施中			平成27年度末までに実施
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	実施済	実施済			対象事業所数：1 上大岡京急ビル（市内エネルギー使用量の約6割を占めるため）
	17	燃焼設備の空気比管理	非該当	非該当			該当する設備なし
	18	排出ガス温度の管理	非該当	非該当			該当する設備なし
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	非該当	非該当			該当する設備なし
	20	工業炉表面の断熱強化	非該当	非該当			該当する設備なし
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	非該当	非該当			該当する設備なし
	22	コンプレッサの吸気管理	非該当	非該当			該当する設備なし
第3号該当事業者	23	推進体制の整備					
	24	自動車の適正な使用管理					
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理					
	26	エコドライブ推進体制の整備					
	27	自動車の適正な維持管理					

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

10 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1				
2				
3				
4				
5				

11 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	平成25年度	全18事業所（上大岡京急ビル他）	1,161 t-Co2	東京電力、丸紅
2					
3					
4					
5					

12 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	<ul style="list-style-type: none"> 1. 緑地保全への取組み 2. 温室効果ガスを吸着する植物（サンパチェンス）の植樹活動の実施
計画期間内に実施する対策	<p>エネルギー使用量が少なく、また地球温暖化の要因となる二酸化炭素の排出量も少ない鉄道・バスなどの公共交通機関へ自家用車から乗り換えていただく取組みを行なうことで、環境負荷を低減する”モーダルシフト”を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅の構内を利用しやすく改善する。 ・バリアフリー対応のバス車両の増備 ・ファミリー割引の提供
第一年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・モーダルシフトの推進するキャンペーンを実施。 ・鉄道事業では、エコ車両の推進、「京急環境電車」の運行等を実施。 ・バス事業では、省エネ車両・低公害車の導入、省エネ運転の推進等を実施。 ・その他、横浜市の風力発電事業に協賛、電気自動車の推進等を実施。
第二年度実績	
第三年度実績	

13 実施状況等に対する自己評価

<p>上大岡京急ビルにて空調と照明の高効率化を実施し、省エネを図った。また、京急金港町ビルの売却に伴い、エネルギー使用量が減少した。</p> <p>京急グループ全体で地球温暖化を防止する活動に取り組んでいる。今後も同様な活動を継続していく。 （京急グループの社会的責任および環境保護への貢献を紹介するHPアドレス http://www.keikyu.co.jp/csr/report/index.html）</p>

地球温暖化対策実施状況報告書

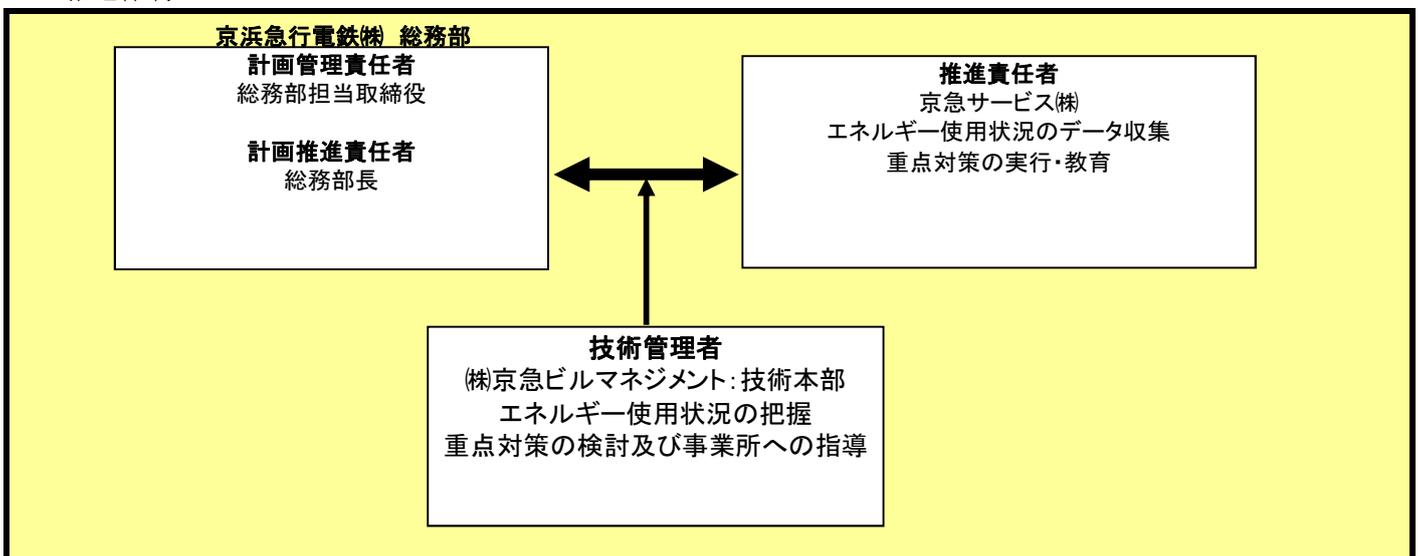
1 事業所等の概要

事業所等の名称	No.6 上大岡京急ビル（京急百貨店）				
事業所等の所在地	横浜市港南区上大岡西1-6-1				
事業所等の建物管理、エネルギー管理に関する状況等	延床面積	106,737	㎡	原油換算エネルギー使用量	2,476 k l
	事業所等の区分	商業施設		所有形態	所有（オーナー）
	エネルギー管理権原	一部有り		使用形態	使用無

2 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

横浜市内における全ての事業所から排出される温室効果ガスの総量に対し、「上大岡京急ビル」が約60%を占めており、排出抑制対策の重要度が高いビルである。当ビルでは、LED照明の導入や運用改善により温室効果ガスの削減を図る。

3 推進体制



地球温暖化対策実施状況報告書

1 事業所等の概要

事業所等の名称	No.2 みうら湯					
事業所等の所在地	横浜市南区中里町1-25-1					
事業所等の建物管理、エネルギー管理に関する状況等	延床面積	1,906	㎡	原油換算エネルギー使用量	569	k l
	事業所等の区分	その他		所有形態	所有（オーナー）	
	エネルギー管理権原	一部有り		使用形態	使用無	

2 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

平成15年竣工の築浅の建物であるため、大きな設備機器等は更新時期に至っていない。当ビルでは運用監理に重点をおき、室内温度の適正化を図り、空調負荷の軽減を図る。又、燃焼機器の空気比を管理することなどにより温室効果ガスの削減を図る。

3 推進体制

